

2024.03.07.

イエスはラハイナ・マウイを愛しておられる パート2
スティーブ・サントス牧師

主よ、今夜あなたの御前に参ります。あなたの祝福に感謝します。あなたというお方に感謝します。主よ、私たちはすべてにおいてあなたに仕えることが出来、感謝します。主よ、私たちの道に訪れる試練と苦難を感謝します。主よ、それが私たちをますますあなたに近づけます。私たちの心と思いをいつもあなたに集中させてください。特にこの時期。この交わりの時を祝福してくださるようお願いいたします。主よ、あなたの御言葉は出ていき、決して虚しく帰りません。私たちは言います。そうなりますように。アーメン、アーメン。こんばんは。どうぞご着席ください。ようこそ。来てくださり大変嬉しいです。オンラインで参加の方も、早速始めますよ。では、私の友人であるラハイナのスティーブ・サントス牧師をぜひ一緒に温かく迎えてください。一拍手ー

君はここで愛されているよ。ご存じでしょ？ 奥さんのキムにエールを送りたいと思います。隣に座っておられます。花嫁は花婿のそばに。で、彼は、、、(スティーブ：テーブルを動かす。)

JD:あ、私の足をのせるからね。あ、ダメダメ。こうする(足をのせる)のは、中東では、究極の侮辱にあたるんだよ。皆さん全員を侮辱してしまった。ほらね。それでは、そう、スリッパを先に脱いでくれてありがとう。とにかく、、、こんばんは。今夜、スティーブ牧師と一緒に主が私たちに何をご用意されているのかを楽しみにしています。彼はまた快く私の招待に応じてくれました。私たちに分かち合ってくれませんか？とお願いしたのです。まず祈りましょう。そして、短い動画から始めたいと思います。それから話を始めるので、一緒に祈りましょう。

お父様、ありがとうございます。どうか私たちを落ち着かせ、あなただけがお出来になる通り、私たちの注意を再調整し、再集中させてください。私たちのストレスの多い生活のあらゆる心配事や事柄、仕事から私たちの心を解放してください。今、私たちが共に過ごすこの時間に集中させてください。今夜、私たちが一緒にいるこの時間に、あなたがなされたいことへ。スティーブとキム、そしてラハイナの教会をそして、キリストにあるすべての兄弟姉妹とラハイナの人々をあなたに感謝します。主よ、祝福し、導き、語り、慰めてくださいませんか？ イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

それでは、先に進みましょう。スタッフ、準備はいい？ 『カルバリーチャペル・ウエストサイドラハイナ アップデート』私たちは、ラハイナのカルバリーチャペルにいます。多くの方が私たちの施設に何が起こったかに質問くださいました。火事で焼失してしまったのですか？と。火事で被害を受けたのですか？と。今、私たちの建物を見てどうですか？ 無傷ですよ。多くの建物で人々が働いています。でも、多くの危険物専門家やその他の人たちから受けた言葉は、自分の子供たちをそこに連れて行くことはないだろうというものでした。私は会衆を愛しているし、子供たちや孫たちを愛しています。私たちは、毎週継続的に公園で会うという難しいことを選択しました。今のところ、このビルで会うことは、私たちにっては手の届かないことなのです。通りの向こう側で何が起きているのかお見せしましょう。今来たこの場所は、カルバリーチャペルから30ヤードも離れていません。ここが8月8日の夜に起こった場所です。ひどいものでした。これらの建物が燃えていました。とても酷く、とても重苦しい。誰もが、カルバリーチャペルは燃えてしまったと思いました。いいえ、消失していません。でも、この施設は使えなのです。半年以上経つのに、彼らは未だにこの障壁の裏側まで行って、この問題を片付けようとしていません。その理由は、繰り返しますが、まだ誰もそこにあるものすべてを知らないからです。ラハイナの住宅やすべてのビジネスに対して、もっと大きな課題があります。ここから海まで続きます。お見せしましょう。ここは通りを挟んで向かい側、約70ヤード、15年近く前からいるカルバリーチャペルの建物からは、約50ヤードほど離れたところなのです。私たちのすぐ後ろ、あそこは、ラハイナでは有名な煙突がある古いさとうきび工場タワーです。周囲に残っているのは、その大部分だけで、どの家も、どの事業所も、完全に地面に溶け落ち、破壊されました。それよりも、建物だけではなくて、より重要なのは人々とその生活です。ここを歩きながら、これを見てください。海まで、約半マイルから4分の3マイルが焼け野原になっています。今まで見た中で最も悲惨なものです。そして半年たって、どこに住もうか、どうすればいいのかとずっと彷徨っている人たちを見かけます。それが今の状況です。多くの人に忘れ去られてしまいました。反対側をご覧ください。排水路のフェン

ス沿いの小道が見えますよね。火事から逃げようとする人たちがいたところ。時速70マイル（約11.6キロ）の強風にあおられ海まで押しやられました。聖句を読みます。「第一ペテロの手紙1章6節」ペテロが注意喚起しています。

ー 1ペテロ 1：6 ー

そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいますが。今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならぬのですが、（それは間違いありませんね。）

ー 1ペテロ 1：7 ー

試練で試されたあなたがたの信仰は、火で精錬されてもなお朽ちていく金よりも高価であり、イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光と誉れをもたらします。

それが今のすべてです。私たちは、文字通り火を通して試され、イエス・キリストに、信仰の真偽を見出す場所にいるのです。どうかラハイナのために祈ってください。カルバリーチャペルのために祈り、ラハイナの聖徒のために祈ってください。神を称えるため、私たちのうちの光が照らされ、彼らがこの恐ろしい試練の中で、神の善を見、天におられる私たちの父を讃えるために。どうすればそうなるのか？ このような経験を経て、天の父に栄光を帰す最善の方法は何か？ 救われる人がいるはずですが。人々がイエスを見つけますように。詳しくは：CalvaryWestside.com どうか祈ってください。それが私たちの心です。私の望む全てです。私は神が人々を救われるのを見たいのです。彼らがとても傷つき、絶望しているから。イエスが希望なのです。それを祈ってください。詳しくは：CalvaryWestside.com 私たちのために祈ってください。詳しくは：CalvaryWestside.com アーメン。皆さんに神の祝福がありますように。

JD:わお。実は、何度も見たんだよ。素晴らしい動画だね。それをまとめて私たちに共有してくれてありがとう。ここからは君に任せるつもりです。私は邪魔をしませんからね。私が口を挟まない限り。そうとは限りませんが、どうぞ。邪魔してすみません。どうぞ。スティーブ： それは、、皆さんはたくさんの動画や写真やいろいろなものを見ただろうけど、“正義が行われない”と言うことすら適切な言葉に思えません。私が何を言いたいかわかりますよね。さっきキムと2階にいて、JDと分かち合っていたんだけど今日、私たちが運転していたように、トンネルを抜けたら突然カイルアが見えて、そして、ただ思ったんだ。私はキムにさえ何も言わなかった...ただ、それがすべて燃えてしまったとしたら？ もしそうだとしたら？ 皆さんみんなは、カネオへ、あなたはここにいて、カイルアはもう無い。私達にとって、それがカアナパリからカパールアまで。ここだったら、カイルアが消滅したようなもの。ものすごく大きい。そして重い。でも、ひとつだけ.....。皆さんは気が付いたかどうか分からないけど.....。最初はね、私と妻はそれを見なかったよ。でも、その後、2回目に見たんだ。その奥に虹が出ているのを。見た？ 毎日虹がかかっているよ。ここと同じように。この歌を知っている？ "虹のあるところ" そして、それには理由がある。ラハイナで昼間に、山に雨が降って、虹が出ると、主が仰っているようです。「わたしはここにいます。わたしはまだここにいるよ。」先日電話が壊れました。電話の中に全てのメモが入っていました。すべて無くしてしまっていて、でも、火事の翌日の夜、火事の翌日の朝だったと思いますが、神が私の心に置かれた「第一列王記19章」の一節、以前にも紹介したし、今夜も少し紹介します。主は火の中におられない。風の中にもおられない。でもその後、静かな小さな声で神は語られた。それで私が考えていたのは、神は、語るのを止められません。そう、私たちが聞くのを止めるのです。私たちは他のことに集中し、注意を向けて、聞いていない。でも、神はいつも語っておられます。そして今日、神が私たちに語りかけるのは、皆さんに共有したように、あれが私たちのラハイナです。誰にでも自分のラハイナがあります。奥さんが病気になったり、子供が病気になったり。事故が起きて、誰かが行方不明になったり。でも、この世界にいる私たち一人ひとりに、自分のラハイナがあります。イエスはそうおっしゃるはずですが。しかし、主はこう仰るでしょう。

「さあ、わたしの声を聞きなさい。わたしの声に耳を傾けることを止めないでほしいのです。わたしの声を聞きなさい。」どこで聞くのか？ 御言葉の中でです。つまり、有名なこの本（聖書）文字通り、まさにこの本なのです。これが私を支えてきました。私たち全員、そこで、ここで、神の御力が必要で、「主よ、まず私はどう舵取りすればいいのですか？」そして2つ目は、愛する花嫁にどうやってこの状況を乗り切らせればいいのですか？ 彼女は打ちひしがれているから。私たちは、そう、まだ涙が出ます。この街は私たちの街

だし、今のところまだ1%くらいしか清掃されていない。この先、長い道のりが待っている。でも、今一緒に住んでいる家族のこととか、いろいろ考えます。それをどう舵取りするのか？ どのように彼らを励ますか？ そして、教会は.....、教会は分裂しました。基本的に、あの火事がそうしました。私が彼らを追い払ったわけではありません。あの火災です。あの火事で多くの人を失ったようなもので、で、神はより大きなお方です。神が私たちを背負ってくださいます。神こそ、私たちが信頼しているお方です。今日、ラハイナで起きたことをいくつか挙げれば、ラハイナの街は、基本的に1%くらいしかきれいになっていません。それは必ずしも慰めにはならないし、不思議なことに、灰がなくなったわけでもありません。街を歩いていて、整地された土地を見かけると、「よし、よかった。私たちは前に進んでいる。」しかし同時に、人々は自分の家を愛していなかったわけではないから、この半年間で、ある意味、灰に愛着を持つようになっていきます。それはまるで新婦や妻であろうと、夫や妻が亡くなると、あなたは彼らの灰を持つ。そう、捨てられないのです。私の母は、いつまで父にしがみついていたのかかわからないけど私たちは、両親と一緒に、海辺に撒きに行きました。どこの場所かわかりませんが、私たちはここに行ったよね、みたいに。これは余談ですけど、私たちは母の家に行きましたら、「ねえ私が死んだら、私の遺灰を持って、お父さんの遺灰と一緒にして、クレセント・シティのそばのフォート・ディックス・ビーチ撒いてね。小さい時行ったでしょ。」

この旅行には家族全員で行きました。楽しみもあれば悪夢もありました。家族全員での旅行ですから。でも、このビーチに着いて、やっと見つけて、そして、私たちはこの大きなビーチを、北カリフォルニアやオレゴンビーチをご存知なら、ラハイナからは遠く離れています。でも言えるのは、灰はどこに撒くべきか？ 海から？ 海に行くと、水は冷たすぎます。大きなXのマークがありました。文字通り、誰かが流木で作って浜辺に置いたのです。私は、「この地点がいいね。」潮が満ちてきたら、流されてしまうだろうと思っていました。灰を砂の上に撒いたりしました。棒を1本取って、大きなハートを書いて、真ん中に両親のイニシャルを書きました。でも、言いたいのは、灰、私たちの人生の諸々に、その日は来なければならず、ラハイナにもその日はあり、また土になる日が来るのです。そうすると、インフラを再構築する必要がある。だから、まだ先の話です。つまり、3,000軒以上の住宅や企業の1%だけです。その概略を説明します。ラハイナの13,000人以上の人々がすべてを失いました。家、アパート、車、家財。でもね、物があるうちは、それがなくなって初めて、自分にとって大切なものに気づくものなのです。必要があって、娘とその家族と一緒に住んでいます。今日もまた、私は私のものを手にしようとして、それはもうない。あなたを打ちのめす。でも、私たちの友人の一人で、教会に来ていた男と一生の思い出を語り合いました。前回分かったかもしれないね。しかし、見逃すには惜しい。アンドリュー、この男はいい友達になりました。教会で礼拝をしていたとき、裏庭に現れました。しばらくは、私たちが集まる公園も使えなかったから。そして彼は裏庭に入ってきて言うんです。

「ねえ、君は以前（私のところの）バーテンダーだったのでは？」それで私は、「今は、君の牧師だよ。」彼は、「君、君は牧師なの？」

JD:彼はバーテンダーで、私は車のディーラーでした。神は私たちをミニストリーに召されました。そう、完全情報開示です。ええ、神だけがお出来になられます。

スティーブ:そして神は、愚かなものでも使い続けておられるのです。決して自分を除外してはいけません。そう、私たちは誰一人、ふさわしくありませんが、神がおっしゃいます。「わたしはあなたを用います。」アンドリュー、この彼は火事から逃げた一人なんです。彼らは、彼らは走って、出口に向かう途中、自分の息子か誰かを連れ戻そうと戻ったら、そうしたら、彼らの孫と一緒にいて、なんてこった、と思ったんです。で、彼らはみんなを連れ出して、彼らはカホマ・ストリームの川の脇を走って、火事から逃げました。しかし、多くの人々が多くのものを失いました。彼は彼の友人のことを教えてくれました。祖父母がそこにいて、彼らは祖父母と話をしていた、10万ドルの現金が金庫に入っていると聞いていました。二人は金庫にたどり着き、金庫を開けたら、彼らは、4万ドルほどを手に入れられました。まだ十分な額が残っていました。耐火金庫は焼いてなんぼです。お金をオープンに入れて焼き燃えなくても、消えてしまいますから。でも人々は失って、物なら代替可能です。でも、今まだ6000人くらいです。あの夜、13,000人が避難し、家を失いました。ラハイナやラハイナの街ではなくラハイナの北側、ラハイナを知らない人のために説明すると、ラハイナからカパルアまでをラハイナ側とみなします。まだ6000人くらいが住んでいます。つまり、カアナパリからカパルアまでのホテルには、まだ6000人ほどが滞在しています。コン

ドミニウムの一部とかね。離散させられた人たちは住む場所を確保するために、家族とともに5、6回引っ越した人もいます。荷物を届けに行ったんです。少し前に、ある女性に空気清浄機を。彼女は5回目の引っ越しで、今は素敵で場所、2ベッドルーム、2バスルームの5つ星のコンドミニウムに住んでいるそうです。すごいわね。でも、いつまでそこにいるのかわからない。

JD:これはホテルからホテルへ、ホテルからホテルへの移動？

スティーブ：島の片側から反対側へ、そしてラハイナ側へ戻る。ラハイナに住んでいた人たちのほとんどが、ラハイナに戻りたいと思っているから。街がなくなってしまってもね。非常に辛いんですけど、ラハイナが彼らの家なのです。彼らは、カフルイにいたくないし、オアフに移動させられたくないし、もちろんカネオへはまだ見てないから、どれだけ良い思いができるかわからないし。

JD:でも、それについてはまた後で。スティーブ：ええ、ハワイ島であっても、プナに人を移そうとしているけど、でも言えるのは、非常に辛い。人々の心は未だに壊れています。笑いがあり、物事がうまくいっている状態から、突然、どこに行くのか、次の日には不安になる。ホテルに住んでいる親友達がいますが、先日、その中のある男が祈りの場において、何人かの訪問者もそこにおいて、彼が家を失い、ホテルに住んでいることも知らなかった。それで、ホテル住まいの人々について質問しているのです。彼は、「それが私です。私が住んでいるところです。家を失いました。」でも神は良いお方です。私たちの家族、私たちの教会体、人々は忠実です。私たちはそこにある忠実な景色を見えています。そう、私たちは話すのが、「神はまた教会を始めて下さるよ。」まるで私たちが最初の30年間はあまり上手くできなかった、とでもいうような。だから、主は私たちにもう一度チャンスを与えてくださっている。でも、私は皆さんに言えるのは、皆さんに言うことができないことを言うと、しかし、神は、驚くべきことをしておられるのです。JDは知っていますが、私たちの教会のために祈り、ラハイナのために祈ってください。神が、カルバリーチャペルを通してその御名を独特の方法で知らしめられるように。神にしかできないことを、私たちの願いのすべてを遥か超えて溢れるばかりに豊かになさることを。それが神です。それを理由に神を過小評価してはいけません。でもその前に、私たちの家、私たちの家族について改めて皆さんにお伝えしたいと思います。私たちは今、一緒に暮らしています。前回ここに来たとき話したと思いますけど、今は私たち夫婦と娘夫婦、それに孫2人が引っ越してきました。彼らは家を失いましたから。でもうまくやっています。娘の乳癌はステージ4で、肋骨の中心胸骨と肩甲骨、リンパ腺、肝臓に転移し、乳房には8つか9つの大きなしこりがありました、でも今では、癌はありません。一拍手ー

すぐに仲間がそこに加わりますよ。それが神です。神はどれほど素晴らしいでしょうか。神は良いお方と言わずしては、賛美できませんよ。でも、彼女はうまくやっています。

JD:ちょっと口を挟んでもいい？ もちろん。彼の娘のニコルは、ケリーと多くの時間、電話で話しました。それで、私たちは基本的に、君の娘と孫を養子にするつもりだと、全面的に話したと思うけど、言わなかったっけ？ そうか。

スティーブ：ええ、孫はあなたに任せます。笑 いやいや、冗談だよ。それについては後で話すけど、ただ彼女に惚れ込んだよ。彼女は33歳？

スティーブ：そうだよ。JD:4年前だったかな、最初の診断を受けたんだよね。

スティーブ：おそらく3年前、3年ちょっと前だね。

JD:その時、、もちろんもう公の場で、私は、ケリーがかなり進行性の乳癌だと公表しました。スティーブと私の心が親密に結束する前に、私達が仲良くなれたのなら、私たちの心は、想像以上に、より緊密に結ばれたので、多くの時間を費やしたね。電話だけでも。ニコルは電話で、ケリーと多くの時間を過ごしこのことで彼女は、その過程を通して学びました。基本的にはこれに尽きました。『祈り』火曜日の夜の祈り会で話した通りです。ニコルは本当に励みになっています。そう、ニコルは主を愛している。ケリーは本当に祝福されました。それでね、私の妻がいる。牧師の妻。彼女は、他の島にいる自分が経験していることを経験した牧師の娘と話している。そして、このような素晴らしい、、あなたたちに語りかけていると思う。主を畏れ、主に戒められるよう、子供たちを育てているあなた達に。彼女はともしっかりしていて、ケリーの励

みになっています。私たちはあなたたちのすぐ後ろにいます。楽しみにしているのは、火曜日の夜に分かち合いましたけど、来ておられなかった方、神です。それは何物でもなく、誰でもなく、神が、(ケリーの) 腫瘍を縮小させ、進行を止めてくださいました。ええ、神だけがお出来になられます。ただ御言葉の中、祈りだけです。それで私たちはニコルのように、ケリーの癌がなくなるのを待っているのです。分かち合ってくれてありがとう。

スティーブ：それは、家族全員に影響を与えます。それはあなたの教会体に影響を与えます。つまり、神を試す、信仰を試すということです。神はすでにご存じです。神はすでにご存じです。あなたがたの信仰をね。神はヨブのをご存じだったように、あなたがどんな信仰を持ち、それがあなたを最後まで運ぶことになるのかを。そして、私たちはその過程で見つける。今夜ここにいる皆さん、そして何千人ものオンライン視聴者の皆さんは、ケリーや JD の家族に今、神がなさっている働きの一部なのです。私たち教会にとっては大きな出来事で、コロナの期間に特別なことがありました。実際コロナ後かもしれないけど、いや、コロナ期間中かな？ コロナの期間中、娘が診断を受けたので、カルバリーチャペルの牧師会議が一か所から全国からのビデオ会議に変更されたのです。水曜日の夜、私たちはたまたま「出エジプト記」の学びをしていて、モーセがイスラエルの民とアマレク人に直面していて、アロンとフルがいて、モーセが腕を高く上げたとき、杖を立てたとき、イスラエルは勝利した。腕が下がると、勝利しない。そうして彼は岩の上に座り、アロンとフルが脇にきて、彼の腕を支えた。そしてイスラエルが勝利し、アマレク人との戦いに勝利した。(出エジプト 17 章)

それが私たちのいたところで、そして水曜日、前の週に会議を欠席したときも、それで、土曜日に教会で見せたのが、その間、5人のスピーカーがそれぞれスピーチし、最後のサプライズ・ゲストとして今は天国にいるチャック・スミスが動画に登場し、それで彼はビデオを送ってきた。

JD:彼は私の味方なんだ。

スティーブ：しかし、その5人の牧師たちはそれぞれ、他の牧師たちが何を教えようとしているのか知らないまま、出エジプト記のアロンとフルがモーセの腕を支える箇所を取り上げたんです。そのうちの一人がそれを詳しく説明しました。私は、「わお〜。」私は会議を閉会し、そのあと教会のみんなを呼びました。「君たちにはこれをやってもらいたい。これは奇妙に思える人もいるかもしれないけど、でも、今ニコルの腕を持ち上げるんだ。ニコル、ここに来なさい。私たちはお前の腕を掲げ、お前のために祈る。」

それで私たちは彼女を教会の皆の前まで引っ張り出し、彼女は両手を挙げ、みんなも両手を挙げて彼女のために祈ったんです。みんなどうやって祈るか知ってる？ ある人は一言、ある人は多数の言葉。それで彼女は座るための岩を探していました。でも、素敵で、彼女は涙を流していた。本当に優しい神の時間だったよ。つまり、いつもそうしているわけではないんです。しかし、神が導かれるとき、それを実行する。だから私たちはそうしたのです。そして、最後に彼女がこう言ったのを覚えてます。彼女は涙ぐんでいて、こう言いました。「まずすごく疲れたわ。涙が出て腕を上げてて、もう持ち堪えられなかったの。」でも彼女は言いました。「でも、そのとき閃いて、私にはできない。」彼女は文字通り、腕を降ろすことができなかった。みんなが彼女の腕を支えていたから。それが私たちが経験している描写で、ケリーと JD、そして彼らの家族のために、皆さんの心の中にある祈りはとても大きなものということです。それに代わるものはありません。超自然的なものなんです。超越した神がやってきて、皆さんや私みたいなただ単純な、自然的なものに働きかけてくださる。そして、神が働きをなさるのです。そして、肉との戦いに勝利する。アマレク人との戦い、そして神は良いお方です。なぜこの話をしてるのか、わかかわからないけど、でもああそうだった、ニコルはうまくやってるよ。

JD:私があなたの邪魔をしたから、こうなったんだよ。

スティーブ：彼女は今週の金曜日にオアフ島でまた検査をする予定です。私は彼女の親知らずの1本を抜いたばかりで、それが実際、骨から生えることもあって、で、かなり痛いので、彼女のために祈ってください。でも、彼女は良くやっています。それからタイラー、彼女の夫なんだけど、彼はまさにチャンピオンで、素晴らしいよ。我が家に来てくれて本当に良かった。彼らがいなくなったら悲しいだろうね。ちょうどそうだったけど、彼らが3週間家を空けただけでとても静かでいい家だった。ええ、でも、でも、私達は彼

らを愛しているのです、行ってほしくないです。ところで私はこれを共有したいのですが、それは歌です。皆さんのために歌うつもりはないですが、この歌は、先日、カルバリー・ホノルルで牧師達の祈り会があって、そこでみんなと良い時間を過ごし、そして、私達の祈りの時間に入る前に彼らが歌った最後の曲は、これ皆さんご存じでしょう？

♪愛しているからこそ、私はあなたに仕えます。あなたは私に命を与えてくださった。あなたが私を見つけてくださるまで、私は何者でもなかった。あなたは私に命を与えてくださった。心の痛み、傷ついた人々、滅茶苦茶にされた人生が、あなたがカルバリーで死なれた理由。あなたが触れてくださることを、私は待ち望む。あなたは私に命を与えてくださった。♪

その曲を聴いて、私はこう思ったんです。それだ、それがラハイナなんだ。あなたはラハイナ、あなたは家にいるラハイナ。それらが続いている場所。心の痛み、傷ついた人々、滅茶苦茶にされた人生。それがイエスです。神はその傷と痛みをご覧になりました。罪と死のために来たひとり子。神はそのひとり子を送られました。滅茶苦茶にされた人生、それがイエスは死なれた理由です。死からよみがえられたのは事実ですけど、イエスが神であられるという証明のための単なる事実情報ではありませんでした。しかし、イエスがどれほど私たちを愛されたかを示すために、その痛みを担われました。それがイエスがカルバリーの丘で死なれた理由です。そして、その一行が全てで、「あなたが触れてくださることを、私は待ち望む。あなたは私に命を与えてくださった。」人々は皆それを知らないんだ。多くの人々はそれを知らないんだ。主が触れてくださることを、人々は待ち望んでいる。そうですね、つまり、「ヨハネの黙示録」で、主が語られる箇所を覚えていますか？そこにはこう書かれています。「あなたは責めるべきことがある。・・・ですね？・・・あなたは初めの愛から離れてしまった。」(ヨハネの黙示録 2：4 参照)

新国際版聖書 (NIV)、旧新国際版聖書で、この後、「あなたに対して、責むべきことがある。あなたに対して、責むべきことがある。あなたは初めの愛から離れてしまった。」

主は仰います。「だから、どこ (の高さ) から落ちたのか思い起こし、悔い改めて初めの行いをしなさい。」(ヨハネの黙示録 2：5 前半参照)

神はこうは仰いません。「どれほど落ちぶれたか、自分の人生が滅茶苦茶なのを見なさい。」が、神はこう仰います。思い起こしなさい。どれほど良かったか、私たちは愛にあったかを。キリストとともに歩むこの最もシンプルなこと。それは主を知らない人々が、彼らが知らないこと、待ち望むのは主であることを待ち望むことです。でも、今夜ここにいる皆さん、オンラインで見ている皆さんは、聞いてください。それが、あなたの人生で今、欠けていること。それは、神の初めの愛というシンプルな場所に戻ることです。それがラハイナが必要なこと。人々は尋ねます。「ラハイナに一番必要なものは何ですか？」それで、、、尋ねられた質問に対して、一番に出てくるのは住宅、住宅、住宅です。それが大きなニーズであることは明らかです。先日、誰かに質問されて思いましたけど、それは2番目です。人々が必要とする一番は、イエス・キリストです。主です。主ご自身、主の御言葉です。そして、要するに、それと共に、人々は主を知らない人たちに会う必要があり、その場所で教会を見る必要があります。それが1番です。再び教会は、、、イエスがエペソの教会に語っておられたように、あなたは初めの愛を忘れてしまった。それが主が私たちに仰るであろうことです。興味深いのは、最初の教会に仰るのが、彼らの問題は初めの愛から離れてしまったこと。こんにちの教会へ、人々が見る必要があるのは、私たちが強く立っている姿で、とらわれるのではなく、私は先ほどこれを話しましたが、敵が投げかける「もしも～だったら」にとらわれないこと。ラハイナにとって、もしも～だったら、、、そうなの？ そうなの？そういうことなの？ それは計画ですか？ 彼らは土地を奪おうとしているのか？ ラハイナをスマートシティにするつもりなのか？ つまり、そういったこと。興味深いですよ。まるでコロナ前のイベント201 (パンデミック演習) のようで。「彼らは6ヶ月前、これについて話してなかったっけ？」で、今それが起きている。6ヶ月前のあれやこれではなく、州知事が計画しているスマートシティとか、もし何かが起こったとしても、そうなるとは言っていないんですけど、ラハイナをスマートシティにできるかもしれないとか。政治的なことには関与しないけど、ラハイナのために祈ってください。たくさんの「もしも～だったら」があるからで、それは非常に現実的です。昨日の陰謀論は今日の真実だったり。あまり大きな声で言いたくない。あまり大きな声ではね。

JD:それは本当だ。スティーブ：そうだね。でも、でもそれは本当だ。非常に多くのことがそんな感じだ。

わからないけど、でも、「もしも～だったら」ということに私はとらわれやすい。まるでセンナケリブが攻めてきた時のヒゼキヤのようで。ここにセンナケリブで、センナケリブは、彼らは人々を殺し、土地を奪い、征服してきた。お前たちより大きな人々をだ。センナケリブはヒゼキヤに手紙を書きこう言った。その手紙を読むと、悪魔の筆跡があちこちに見られるんだ。聞いてください。あなたの人生の「もしも～だったら」も同じです。でしょ？ え～、つまり、もしも～だったら。ニコルが癌に撃たれた時、孫たちを見ながら、もしも神が彼女を取られたら？ もしも神が彼女を取られたら？ もしも神が私の娘を取られたら？ 彼女にはこの小さな子供たちがいるんだ。でも、ご存知ですね？ 主はそれを許されるときがあられます。若い母親が亡くなることもあります。悲劇です。私たちの人生における神の恵みと憐れみを讃えます。たぶんそれはあなたが主に懇願するからでしょう。神はこんな感じで、「わたしはあなたを祝福します。ここまで、ここまでわたしはサタンの手を許してきた。この仕事については、また後ほど見ますけど、わたしはあなたを祝福する。あなたの心の望みを与えます。」

しかし、まだ、神が私の心にはっきりと語りかけられた後でさえ、私はこれを与えられました。「わたしは彼女を癒す。」その言葉がそのように2回です。声では聞こえませんでした。頭の中で、心の中で、「わたしは彼女を癒す。」2回 別々の機会です。私はこんな感じで、「神よ、あなたはそうしてくださるのですか？」それでも私は疑いました。私たちが住んでいるところだってそうです。この肉はそれが弱さです。神は今夜、こう仰るかもしれません。ご存知ですね。「わたしはできます。あなたが今考えていること、求めていること全てを、はるかに、豊かに超えて、求め続け、たたき続け、求め続けなさい。」

その角を曲がったところにあるかもしれない。私は大変気に入っていて、水曜日の夜、旧約聖書を教えているとき、私の聖書に何度も1つ読んでページをめくると、ページの一番上には、

「すべてがなくなった。何も無い。困ったことになった。みんな死んでしまう。水がないところに行くんだ。」ページをめくり、次のページの一番上を見ると、

「十二の水の泉と七十本のなつめ椰子の木があった。」(出エジプト 15 : 27 参照)

神がページをめくってくれるのを待つのです。でもラハイナについては、それが私たちの現状です。現実にはいろいろなことがあるんだ。私たちはそれに向き合わなければならない。人々は家を再建する余裕があるのか？ 今そこにある現実のすべては、おそらくほとんどの人は、家を建て直す余裕はないでしょう。大部分が、少なくとも。家を建て直す金額を見ると、ほとんどの人が、、、支払った保険料が補償に十分な人々は恵まれていて、ほとんどは、補償額に対して保険料が不足。現在の建築費について言えば。留意ください。ちょっと時間を取って、書き留めて、家の保険を確認し、家を再建するのに十分かを確認してください。まったく保険に加入していない人もいました。親しい友人たちの保険が前月に失効しました。彼らはそれを知りませんでした。彼らはそれさえ知らなかったんです。州外で暮らしています。しかし、神はより大きなお方です。そのことを見ると、まるでセンナケリブの手紙のようです。

「ほら、ここだ。あなたは絶望的だ。ヨブの妻のように、あきらめて神を呪い、死んでしまったほうがいい。」みんな彼女をいじめる。

JD : その手紙の一部を挿入してもいいですか？ 何が陰湿だったかという、彼はその手紙にこう書きました。神がその手紙を書くようにと命じたのだと。

スティーブ : はい。

JD : まるで神からヒゼキヤへの言葉のように。主は、あなたに伝えるために私を遣わされた。と何と言いましたか？ あなたは死ぬ。絶望的だ。神はあなたに背を向けている。神は私を送られる。そのことを伝えるために、この手紙をお前に送ったのだ。(II 歴代誌 32 : 17 参照) スティーブ : そうです。

JD : 彼がしたのは、、、いいですか？ スティーブ : 続けてください。 JD : あなたが終えて、、、スティーブ : いえ、私は少しだけ、、、

JD : ここに、雷が。何がそんなにイけてるかという、それを私たちと一緒に学んだ人たちのために、ヒゼキヤは、私たち一人ひとりがすべきことをします。ヒゼキヤはセンナケリブからそのメールを受け取りま

す。私が話しているメールを彼は印刷し、主の御前に掲げて言います。

「わかりました。主よ、これでどうされるおつもりですか？」そこからあなたが続けてください。

スティーブ：私も同じことを言おうとしたところでした。ヒゼキヤは最後にこう言っています。こう始めます。基本的に、主なる神、天と地の創造主よ。そして、神の不思議とご栄光、神のいつくしみを語り続けます。その祈りの段落が終わるころには、もう大丈夫だ、という感じになっています。神のいつくしみを思い起こすようになると書いてあって、神がなされたこと、神がどなたであられるかを。私たちがいつも話すのは、ヨシュア記を学び終えたところで、物事が暗く見えるとき、振り返ってみてみることに。神がしてくださった良いことを思い出す。それが、今すぐ、ラハイナの人々が教会を見る必要がある場所で、私たちはイエスを知らない人々がたくさんいる場所にいるからです。ビデオで話したようなことが一つあるとしたら、この結果、ひとつだけ良いことがあるとすれば、それは人々がキリストを知るようになることです。お分かりですね。私たちのために、教会として祈ってください。少し前にJ.D.が読んだ手紙に書いたように。休める場所を見つけられるよう。私たちは今は公園にいます。もう31年もそこにいます。何が問題なのか？問題は両側にホームレスのキャンプが広がっていることです。あなたは考えます。

「貧しい人々は家を失ったんだ。スティーブ、あなたは心がありますね。」聞いてください。今、ラハイナでホームレスの人々の大半は、公園などでテント生活で、島中にいて、さらに言えば、オアフ島から来ています。私が2週間前に会った男性は、彼はやって来て、彼は礼拝の最後に祈りに来て、私は彼のために祈りました。彼らは私の社会保障が受けられるように祈りました。

「私はオアフ島から3週間前に引っ越してきたばかりなんだけど、社会保障が受けられない。」私はこんな感じで、「ここで何をしていますか？」ここには無料のものがあります。ご存知。無料のもの、テント、ここラハイナの海のそばで暮らす。素晴らしい教会。(スティーブくすくす笑い)しかし、5週間前にニューヨークから引っ越してきたばかりの男性で、ニューヨークから。そして、他の人たちは、ホームレスキャンプからで、島の反対側から引っ越して来ました。あらゆる無料のものがあるからです。そのために私たちのために祈ってください。その中で教会を持つのは難しいことです。そこにいるのが大人たちだけなら、それはひとつのことですけど、家族に手を差し伸べようとする、ちょっと難しいんです。賛美の時は子供たちが一緒にいて、公園礼拝は、そこに行ってみたことがある人ならわかると思うけど、非常に美しいです。素晴らしいです。今、賛美が終わって、子供たち全員が向かうのは、公園を下り、ホームレスキャンプを通り過ぎたところにある、日曜学校です。心配しないでください。あそこなら安全だし、ホームレスは見えないから。葉の匂いがするのはわかるし、怒鳴り声も聞こえるけど。向こうの子供たちは大丈夫だから。カルバリーチャペルの日曜学校です。ですから、私たちは家が必要です。が、私はそのために神を信じます。神は素晴らしいことされます。密かに、よく言われるように。が、「もしも～なら」にとらわれたくないんだ。そこに行くのは本当に簡単だから。しかし、神は私たちのために計画を持っておられます。はい。

JD：ヨブについて少し話したがってましたね。私は本当に楽しみで、これはスティーブと私が話していたことだからで、恐怖の要因について、そう呼べれば、うまく言えませんが。ヨブには1つポイントがあって、ヨブがこう言います。「私がおびえていたもの、それが私を襲い、私が恐れていたもの、それが降りかかったからだ。」(ヨブ 3：25参照)

しかし、すべてが起こった後の過去形でした。つまり、これは想像を絶する試練で、ただ、ヨブは苦しみの中にいました。スティーブがこの話をする時、空白が埋まると思います。しかし、実に興味深いことのひとつは、神が許可されない限り、敵はヨブに何もできなかったということ。「ヨブ記」の中で際立って欠けているのは、ヨブが、いや、悪魔がヨブに警告を与えたという記述です。言い換えれば、サタンがあなたに恐れを、あるいは「もしも～だったら」を植え付ける時、それはただ恐れを与えるだけです。もし家と呼べるような場所がなかったら、もしホテルを転々とするとしたら？あるいは、もし癌が広がり続けていたら？もし～だったら？もし～だったら？そして底なし沼。終わりがありません。まさにそうです。恐れと恐れが蔓延します。しかし、問題はここからです。サタンは実行する時あなたに恐れを与えません。なぜサタンは事前に恐れを警告をするのか？敵がヨブに言ったことは一度もありません。「私はあなたの子供たち、10人全員を取る。」とは。あなたがシェアすることにあまり踏み込みたくないのですが、ちょっと舞台を整えたいと思います。ポイントはこうです。恐れが来てきたら、それは敵です。まず第一に、聖霊

は決して私たちに恐れを与えられません。愛と力と健全な思いですね？ すべてのはかりごとを取り押さえるために思いを躡けてください。(II コリント 10 : 2 参照)

子供たちを躡けるように、自分の思いを躡けるのです。ただ、恐れを取り入れないようにするのです。しかし、ここではっきりさせておきたいのです。あなたが恐れをもちたなら、それは敵です。敵は、主からそれをするための許可を与えられていないのを知っています。そうでなければ、すでに実行しています。ですから、サタンが(ヨブに) そう言うとき、

「私が最も恐れていたことが、私の前に現れたのだ」 (ヨブ 3 : 25 参照)

それは声ではなく、内面的なものでした。サタンはあなたの心を読むことも、あなたの考えを知ることもできません。神だけがおできになります。ですから、サタンはその恐れを知る由もありませんでした。また、サタンは混乱の作者であるように、恐れ作者でもあります。サタンが神から許可を得ていなかったとしたら、サタンはただ恐れを植え付けることに頼ります。「お前の子供、娘、妻を奪い、お前の人生を破壊してやる。」いいえ、残念でした。サタンがすでに神から許可を得ているのなら、今までにすでに実行しています。それは理にかなっていませんよね？ ですから、敵に「もしも〜だったら」の恐れを置かせないでください。もしサタンがしているのなら、喜んでください。神がサタンに許可を与えておられないからです。それが証拠に、もしサタンがそうしていたなら、サタンはすでにそうしていたはずで、「子供たちを取るから注意しろ」みたいなメールを送ったりはしませんね。しません。サタンはただそれをするだけです。はい。サタンが許可を得たらです。それも含めるべきでしょう。私たちはこれについて話しました。私たちの益と、神のご栄光にならない限り、神は敵が何かをすることを決してお許しになりません。イエスが仰いました。

「シモン、シモン。見なさい。サタンがあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って、聞き届けられました。」(ルカ 22 : 31 参照)

もし私がペテロなら、、、ユーモアのようなものを感じますね？

スティーブ：はい。君と私がペテロなら、特にあなたと私がペテロなら。スティーブ、スティーブと J.D. がそこにいたら、私たちはこうなります。「ペテロ、そうすると仰ったか、神に聞きましたか？ 悪魔にそうしないと仰ったでしょ？ 小麦のようにふるいにかける許可は与えませんでしたよね？」と。「いや、スティーブ、J.D.、ペテロよ、わたしは許可しました。」「まさか〜！！」「でも、すべてが終わったとき、それはあなたの益に、わたしの栄光になります。」それが、神が敵に許可されねば、敵は何もできない唯一の理由です。敵に許可がないとき、、、私はこれで締めくくります。許可がないなら、敵は恐れに訴えるしかありません。敵にはそれを実行する GO サインがないから。ですから、聖霊ではないから、悪魔だとわかるわけです。もし敵が主から許可を得ていたら、恐れを抱かせることはありませんから。いずれにせよ、そのころにすでに実行していただろうから。君の話の先を脱線させてしまいましたかね？

スティーブ：いいえ。問題は、恐れは、敵の声と肉の弱さの副産物ということです。そういうことです。それは敵の声で、自分の肉の弱さです。そして気がつく、あなたは空回りしている。神が与える唯一の恐れは、主への恐れです。ですから「箴言 9 章 10 節」の通り、主を畏れることは知恵の始まり。でしょ？

「主を畏れることは知恵の始まり」私たちの教会では、誰もがこの聖句の後半を知っています。私はこの詩を何千回となく口にしてきたから。なぜなら、この詩の後半がすべてだからです。主を畏れることは知恵の始まり。聖なる方を知ることは悟り。聖なる方はイエスです。私たちはまずイエスについての知識があります。イエスという聖なるお方について、あなたに与えられている最大の知識とは何ですか？ 聖書の中にあるイエスについての最大の知識とは何か？ それはご存じ、少なくとも個人的に、イエスはあなたを愛しておられること。イエスは神で、あなたを愛しておられる。そして、その聖なる方への知識は、あらゆる疑念や恐れ、同時に敵の叫びを乗り越えていくための理解です。さっき、「第一列王記 19 章」から分かち合ったのは、ほら、この T シャツみたいに、先週は言わなかったけど、前回は頼んで JD にこの T シャツを着てもらって、

JD: ええ、今回は頼まれなかったから。

スティーブ：あなたは教会で T シャツを着て、「イエスはラハイナを愛しておられる。」と書いてあって、背

中には、「主は風の中にも火の中にもおられないが静かな小さな声で語られた。」(I列王記19:12)

今日、娘に新しいのが欲しいって言ったのです。まだ Jesus loves Lahaina.com で買えます。新作が出ることを期待しています。一番下に小さな矢印のようなものがあって、「イエスは尚もラハイナを愛しておられる。」イエスは尚もラハイナを愛しておられます。主は風の中にはおられなかった。主は火の中にはおられなかった。何百回この聖句を人々に伝えたか分かりません。ただ素晴らしくて、良かった。それは神で、力強いものだったから。でも、神はエリヤを洞窟で、洞窟から出てくるように仰いました。神は彼をそこに立たせられ、彼の前で、風が起こり、風は岩を砕いて、地震が起こりました。興味深いのは、風が岩を砕いたんです。過激ですよ。神は風の中におられなかった。つまり、それは主があなたに示された破壊です。「わたしはその破壊の中にはいない。」そして地震が起こり、そして火事が起きた。主は風や地震や火の中にはおられなかった。しかし、その時、小さな声をした。主が語ろうと望まれ、私たちはそれを説明しました。素晴らしいです。私たちがした以前のものをもう一度見てみてください。それについてもっと見たければ、どうぞ。でも思いました。OK。突然、閃いたのです。敵が、風と火によって破壊をもたらしたことが、他のどこにあったらうかと。私はその場に座っていて考えました。「わお、ヨブ記だ、そうだったよね。」そしてある日、ヨブ記1章6節で、ヨブがいかに偉大な人物であったか、また彼がいかに地の者を頼らなかったかを説明したら、素晴らしいものでした。ヨブは罪がなく、まっすぐで、神を恐れ悪から遠ざかった。7人の息子と3人の娘がいて、ラクダや牛の軛(くびき)、その他もろもろがある。そして興味深いことに、彼の息子たちが、、、これを読んでみましょう。4節です。

— ヨブ 1:4 —

彼の息子たちは互いに行き来し、それぞれ自分の順番の日に、家で宴会を開き、・・・

彼らが分かち合っていたのは、「明日の夜、私たちの家に来て、その次の夜は、私たちはあなたの家に行き、木曜日には妹の家でパーティーをしよう。」みたいに。

・・・人を遣わして彼らの三人の姉妹も招き、よく一緒に食べたり飲んだりしていた。

— ヨブ 1:5 —

宴会の日が一巡すると、ヨブは彼らを呼び寄せて聖別した。朝早く起きて、彼ら一人ひとりのために、それぞれの全焼のささげ物を献げたのである。ヨブは、「もしかすると、息子たちが罪に陥って、心の中で神を呪ったかもしれない」と思ったからである。ヨブはいつもこのようにしていた。

素晴らしい学びですそれを見ると、その考えと理解は、あなたの家族のために祈り、その模範となること。でも、全く言えるのは、神がヨブの心を通わせ、聖別されたすべての焼き尽くす捧げ物、すべての祈りを捧げても、神は彼の家族を取られた。でしょ？ ですから、神は裁かれたのは、ヨブの祈りが十分でなかったからか、それとも彼の子供たちがひどかったからか？ いいえ、そうではありません。

— ヨブ 1:6 —

ある日、神の子らがやって来て、主の前に立った。サタンもやって来て、彼らの中にいた。(サタンはそこにいました。)

— ヨブ 1:7 —

主はサタンに言われた。「おまえはどこから来たのか。」サタンは主に答えた。「地を歩き巡り、そこを歩き回って来ました。」

— ヨブ 1:8 —

主はサタンに言われた。(ニコニコして)「おまえは、わたしのしもべヨブに心を留めたか。・・・

(神はご存じですよご存じ。)神はつついておられるんです。「わたしのしもべヨブに心を留めたか。」と。

・・・彼のように、誠実で直ぐな心を持ち、神を恐れて悪から遠ざかっている者は、地上には一人もいな

い。」

ー ヨブ 1 : 9 ー

サタンは主に答えた。「ヨブは理由もなく神を恐れているのでしょうか。」

ー ヨブ 1 : 10 ー

あなたが、彼の周り、彼の家の周り、そしてすべての財産の周りに、垣を巡らされたのではありませんか。あなたが彼の手のわざを祝福されたので、彼の家畜は地に増え広がっているのです。

ー ヨブ 1 : 11 ー

しかし、手を伸ばして、彼のすべての財産を打ってみてください。彼はきっと、面と向かってあなたを呪うに違いありません。」

で、非常に重要なのは、

ー ヨブ 1 : 12 ー

主はサタンに言われた。「では、彼の財産をすべておまえの手に任せる。ただし、彼自身には手を伸ばしてはならない。」そこで、サタンは主の前から出て行った。

これを読むと、それがサタンの手だったと分かります。神の御手ではありませんでした。神はすべてのことで非難されておられます。何か悪いこと、大きなことが起きたら。「ああ、神のせいだ！」と。違いますよ。

何千年もの間、神はサタンと同じような会話を何度交わしておられるのかを考えます。「お前は、わたしのしもべJDを見たか？」ね？

JD : やめて〜！！「彼は誠実で、、、」 JD : どうかやめて。 JD : しもベスティーブにしようよ。

スティーブ : 「わたしのしもべケリーを見たか？ 誠実で、直ぐな心を持ち、」 誠実なというのは、ヨブは、完璧ではありませんでした皆さん、ご存じですよ。イエス以外、完璧な人なんていません。「誠実で直ぐな心を持ち、神を恐れて悪から遠ざかっている者」そこに自分の名前を入れてください。「神を愛し、それをやめない者」これがその考えです。そして主は、その男性、その女性に試練を与えられます。そして、それから続いて、さっき私が話した話 敵が外に出て行ったとき、「神の火が天から下って、羊と若い者たちを焼き滅ぼしました。・・・時間の関係上、ちょっと飛ばして先に行ってますけど、・・・私一人だけが逃れて、あなたに知らせに参りました。」(ヨブ 1 : 16)

「この者がまだ話している間に、もう一人が来て言った。「カルデア人が三組になって、らくだを襲い、これを奪い取り、若い者たちを剣の刃で打ち殺しました。私一人だけが逃れて、あなたに知らせに参りました。」

(ヨブ 1 : 17)

この者がまだ話している間に、もう一人が来て言った。・・・

(それまでに既に3人悪い知らせを持って来ています。)(あなたの息子の一番上の兄さん宅で)

・・・そこへ荒野の方から大風が吹いて来て、家の四隅を打ち、それがお若い方々の上に倒れたので、皆様亡くなられました。私一人だけが逃れて、あなたに知らせに参りました。」そうして燃え上がった火で焼け落ちた。大風が吹き、ヨブの子供達は亡くなった。

ー ヨブ 1 : 20 ー

このとき、ヨブは立ち上がって上着を引き裂き、・・・彼はこう言う。「私は祈った。毎日祈ったのに。

私は毎日、忠実に祈った。」いいえ、ヨブはそうは言いませんでした。

・・・頭を剃り、地にひれ伏して礼拝し、

悲劇への対応の概要はここに 있습니다。ヨブは、「頭を剃り、地にひれ伏して礼拝した。」

ー ヨブ 1 : 2 1 ー

そして言った。「私は裸で母の胎から出て来た。また裸でかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」

ー ヨブ 1 : 2 2 ー

ヨブはこれらすべてのことにおいても、罪に陥ることなく、神に対して愚痴をこぼすようなことはしなかった。

私は理解できます。ヨブの奥さんは、言い始めたように、多くの人が言うのは、、、ヨブの奥さんは、

「なんということ。神を呪って死になさい。」(ヨブ 2 : 9 参照)

私だったら、「下がれサタン。」ですよ。いやいや、この女性は、家族全員を失い、子供たちと家を失い、そして今、彼女の夫は病気で死にそうなんです。人々は、ヨブの奥さんに優しくするべきですよ。でも、だからといって、何を言いたいかという.....。こんな時、妻に必要なのは、あなたの奥さんには男手が必要で、あなたの教会には、牧師が必要で、私たちがすべきことは、何かわかりますか？私には分からない。どうすればいいかわからない。何も言えない。でも、神を信じる。私たちは神を信頼する。それしかないのです。私たちは神がご忠実なのを見てきました。前に君に歌った歌のようにね。私は神を信頼します。この先も。神は決して傍観者ではありません。神はいつも私たちと一緒に戦い、準備をしておられます。次の40章分を読み進めていくと、ヨブの友人がやってきて、良き友人とは何か、肉における良い友人とは何かの模範を示します。彼らは7日間、泣き、嘆き、悲しみと灰をまとい、ただ正しいことをします。私たちは時々、何と言っているのかかわからず、で、それからどうします？しかし、最終的に何を言うべきか考えます。いいえ、その必要はありません。何も言う必要はなく、ただ愛するだけです。愛するだけ。神が本当にあなたに言葉を与えない限り。そして、私は誰よりもこのことを学ぶ必要があります。神が語られるまでは、口を閉じている。しかし、結局のところ私はこのことを皆さんと分かち合いたいのです。私たちがどこを通り、どこへ向かっているのか分かりませんが、主が語られ、物事を清算し、その恵みを示される時、それはヨブのためだけでなく、ヨブを承認するためでもあり、またヨブを正すためでもあります。42章7節、主が次のように語られます。主がこれらのことばをヨブに語った後、

主はテマン人エリファズに言われた。.....「わたしの怒りはあなたとあなたの二人の友に向かって燃える。あなたがたが、わたしのしもべヨブのように、わたしについて確かなことを語らなかつたからだ。

そういう男に私はなりたいたいです。私は、最後に神がこう仰るような存在になりたいのです。

「ありがとう。わたしを信じてくれてありがとう。わたしを正しく表してくれてありがとう。焦りや苦しみに屈しないでくれてありがとう。とてもリアルだったのにね、ヨブよ。」

しかし、彼は次のように語っています。

ー ヨブ 42 : 8 ー

今、あなたがたは雄牛七頭と、雄羊七匹を取って、わたしのしもべヨブのところへ行き、自分たちのために全焼のささげ物を献げよ...

神は仰います。

... わたしのしもべヨブがあなたがたのために祈る。わたしは彼の願いを受け入れるので、あなたがたの愚行に報いるようなことはしない。

ヨブが祈ることを、神はすでにご存知なのです。たとえ彼らがしくじり、混迷し、苛立っていたとしても、その彼らのために。私達の人生で、人々がそうであるように。家族の誰かが癌になったとき、自分達の家族が(癌で)亡くなったという話をする人たちがいます。誰もそんな話を聞かなくていいんです、オーケー？

誰もその話を聞く必要はありません。ただ祈りのクローゼットに入って祈ってください。で、ここで彼は彼らのために祈っていて、そして、ここが私の大好きな箇所、

... わたしは彼の願いを受け入れるので、あなたがたの愚行に報いるようなことはしない。あなたがたは、わたしのしもべヨブのように、わたしについて確かなことを語らなかったが。」

繰り返します、それが私のなりたい姿です。神が『あれはわたしのしもべだ』とおっしゃるような者になりたいです。もう悪魔にはそれを仰ってほしくないです。っていうか、わからないですけど。それは舞台裏で起きたのでしょうか？「わたしのしもべであるスティーブを検討し、彼の街全体を焼き払いなさい。」分からない、分かりません。ラハイナは私のためだけの、あれやこれやのものではなかったと思います。一体全部で何人いるのか誰にも分かりません。神が、忠実なしもべがそこにいる、とおっしゃられる者が。お伝えしたように、一時期、マリOTTホテルでバーテンダーとして働いていました。当時、その業界で、もしラハイナ中でないとなれば、このホテルでは一番給料のいい仕事でした。私たちは馬鹿馬鹿しいほど稼いでいました。ある時、私たちは特別なミーティングに呼ばれました。その前の晩、私はリビングルームの床に座っていました。毎晩仕事を終えて家に帰ると、聖書の勉強をしていたので。そしてリビングルームの床に膝まずきます。そしてこの夜は、神が祈りを聞いてくださったことを知った一夜でした。ベッドに戻る前、夜明け前に、文字通り、リビングルームの床に膝まずきました。私はただ祈りました。

「主よ、私の人生をひっくり返してください。何であれあなたが望むなら。神よ、私はあなたのものです。」

そして次の日、「緊急ミーティングがあるから、みんな来てください。バナナ・ムーンで働いているみんなに話があります。」「どうでもいいけど、誰かが逮捕されたとか、ドラッグか何かで。」当時あそこで何が起きていたかなんて、誰に分かるでしょう。しかし、手短かに言えば、私はミーティングに出ました。で、閉店する、と言われました。「バナナムーンは閉店します。君たちみんな、来月中旬に仕事を見つけなければならなりません。それ以外は、しばらく前からここで働いている皆さん、退職金やあれこれを支給します。」と。時給制の仕事にしては、とても手厚いですが、でも、私の妻は妊娠していて、健康保険が必要で、そして、みんなショックを受けました。というのも、この人達は大儲けしていたからです。彼らは、言いました。「君たち全員は失業です。幸運を祈ります。」そして、私はただ笑い始めました。文字通り腹を抱えて。そしてみんな、「何がそんなにおかしいんだ？」彼らは皆、私がクリスチャンであることを知っていたし、以前から私を馬鹿にしていました。そして、私は彼らを見て、ただ、「本当にごめんなさい。」と言いました。「君は何がそんなに可笑しいんだ？」「あなたはたった今、、、」「君たち2人だけだよ、この中の誰よりも稼いでいるのは。他のバーテンダーはね、、、」で、私は言いました。「ええっと、ゆうべ、私は、私の人生をひっくり返し、神が望むことを何でもしてくださるよう神に祈ったんだ。そして君たちはそれに巻き込まれた。本当に申し訳ない。」とにかく、神はここで何かをなさっています。なぜならそのことを通じて、その最終日に、“にっこう”というレストランで仕事を見つけたのです。当時マリOTTにあった小さな和風鉄板焼きステーキハウスです。そこで週に2日、レジ係、バーテンダーとして働き始め、その間、「第一ヨハネの手紙」を紐解きながら、これは私が教えるべきかも、と思ったのです。こんなふうに、カルバリーチャペルはそこから、そして他の道も通って、生まれました。

JD: バーテンダーをしていたマリOTTは、聖書の勉強会をしていたのと同じマリOTTホテルですか？

スティーブ: そうです。あれ、どうだろう。ちょっと待って、違うな。

JD: つまりあれから何年も、

スティーブ: いや、違った。いや、いや、違う。私たちはやった、やりました。その夜、実は私はバーテンダーから転身しました。私たちはその年そこで、クリスマス・イブの礼拝をしました。教会を始めた当初、私たちには建物がなかったので、クリスマスイブの礼拝もマリOTTの宴会広間でやりました。そして、そのうちの2、3日は、私が仕事の夜だったので、なので、ナイトクラブで働いてから、ナイトクラブではなく鉄板焼きバーで働いてから、宴会広間で、バーから説教壇へ、とにかく、そうしてクリスマスイブの礼拝をわかちあったんです。しかし、夜の礼拝を行ったのはハイアットでした。そうでした、その小さな庭で。

JD:神はユーモアのセンスがあるね。

スティーブ：しかし、それはともかくとして友人たちのために祈ったとき、主はヨブの富を取りもどされました。混迷し、しくじり、傷つけるようなことを言った友人たち。それで思ったんです。実は、壊れてもう使えない携帯のメモに書いてあるんですけど、でも、誰ですか？あなたの人生で、もしかしたら、祈りのリストに戻す必要がある人は誰ですか。あの人、この言葉は嫌いですが、あの“厄介な”人。いいですか、私にそれをけっして言わないで。けっして私に“厄介な人たち”だなんて言わないでください。神があなたや私のために、私たちのために、そして神の愛のために、何を我慢し何を経験されたかを見てください。だから、たぶん、「ほら、その人たちをあなたのリストに戻して、彼らのために祈り始めなさい。」と神が仰る人達がいるのではないですか。もしかしたら、神があなたの人生に何らかの修復を始められるかもしれません。もしそうでなければ、あなた自身の心の修復で、それは最も素晴らしいことです。しかし、神はさらにこう付け加えておられ、

ー ヨブ 42 : 12 ー

主はヨブの後の半生を前の半生に増して祝福された。

そしてまた、カルバリーチャペル、私たちは「神が祝福を与えてくださります！」と名指し、主張する教会ではありません。「神は7倍にし、1回68ドルの資金で68,000ドルを受け取れます！」ここではそういうことはしません。

JD：しないんですか？ でも、実際のところ、わかります？ 私たちの人生においても、ときに私達は神の祝福を過小評価することがあると思います。私たちの人生において、これらよりもより大きなものをもたらしてくださる神を信じ、求めるべきです。もしそれが“終わりの日”だとしたら？つまり、今、私たちの教会の中の私たちの人生を見て、神よ、あなたは前よりももっと多くのことをなさりたいのですか？ 私達はいつも、、、さっき私達は一緒に話していて、J.D.は公認会計士を使えば、と言いまして、公認会計士が必要なほどお金があったことは1度もありません。本当です。しかし、終わりの日において、神は何を望んでおられますか？ あなたの人生に何を望んでおられますか？ 自分自身を、除外しないでください。今夜は白髪頭がたくさん揃っているじゃないですか。私は染めてますけどね。だから、、、いや、実はそうじゃないけど。

JD:スティーブは私より年上なんですよ。

JD：私はただ、、、スティーブ：私たちまたこれやるの？ もちろん。彼はただ、、、もしよければ、この胸の内をすぐに打ち明けたいんですが。私はただ、彼は私より年配だと公言しておきたいだけです。そう。そして、私は髪を染めていないことを公言しておきたいです。いえいえ、義理の妹に聞かれたことがあるんです。「ねえ、髪に何を使ってるの？」私の弟ですけど、彼の髪はずいぶん前に白髪になったからです。だから、「髪には何を使っているの？」私は言います。「時々、ちょっとした製品だけ。」とかなんとか。

そして、彼女はこう言います。「違うわ、ヘアカラーよ。」「私、髪は染めてないよ。」かっこいいとは思いますが。少しは尊敬されるかもしれないし。みんな、この人はちょっと年上だな、みたいな目で見て、白髪が増え、栄光に包まれている。

JD:どうもありがとう。なら、私を尊敬してください。ええ。

スティーブ：でも、髪がないときは、、、いえ、いえ、いえ。

JD:ちょっと、髪がないってところまで、行かないといけないの？ OK、これでおあいこだ。

スティーブ：ねえ、人がいかに表面的とか、何とかかんとかなのかってことに驚かされますよね。初めてメガネをかけたとき、教会の小さなおばあさんがこう言ったんです。腕の長さが足りなくて時計が見えなくなったから、眼鏡を買ったんですけど、そして、彼女はこう言いました。「今ならあなたを尊敬できるわ。」ってね。彼女は何年も私たちの教会に来てくれているのにですよ。

JD：みなさんは私にそんなことしませんよね。しかし、もう一度これを聞いてください。繰り返します。

ー ヨブ 42 : 12 ー

主はヨブの後の半生を前の半生に増して祝福された... こうしてヨブは...

ここから、『ヨブ記』の最後の節へと飛びますが、ヨブは死にました。

ー ヨブ 42 : 17 ー

こうしてヨブは死んだ。年老いて満ち足りた生涯であった。

そして今朝、それを読んで、毎日が充実するというを考えていました。私たちはたった今、彼の生涯の一部を読みました。第1章の冒頭は、ヨブの素晴らしい日々だった。素晴らしい日々、驚くべき日々。そして同時に、この本の大部分は、本当に、本当に、本当に、辛く、厳しく、残酷な日々でした。でも、いい日というのは、本当に、本当につらい日です。ラハイナの日々。癌を告げられた日々。信じる者は、主の御名に祝福あれと言うでしょう。私は主を礼拝します。そして主を礼拝するとどうなるのか？ 聞いてください。同じです。壊れ傷ついたとき、そこにたどり着いて、主を礼拝するのです。私は大丈夫、大丈夫です。ヒゼキヤはセンナケリブの手紙を読み、主の御前にそれをさらけ出しました。(II 列王記 19 : 8 - 19 参照) 神よ、あなたは善であり、栄光です。あなたが天と地を造られました。(II 列王記 19 : 15 参照) そして突然、それが何だかわかります？ それは要するに礼拝の場所で、もう私は平気です。礼拝をしなければ、それは起きません。聖書を読まなければ起こらないのです。神が働かれる場所は、御言葉による礼拝を通してです。私は怯えて生きるつもりはありません。希望を捨てるなどもってのほかです。神の御言葉、私の神は、私を救ってくださいと信じます。これらは、神が私に与えてくれた御言葉です。ある晩遅く、私はどうしても神が必要だった。娘のために祈っていて、娘のために、神よ、私の娘を癒してくださいとだけでなく、私の孫の母親をずっとそばに置いてください、と祈りました。神よ、私に娘を失った妻を慰めさせないでください。そして、彼女を愛してやまない妹と、取り残されてしまう娘の夫。でも突然、神がそれらの御言葉を与えてくれるのです。今は皆さんの前で歌わないけど、さっき JD のために歌いました。

JD : 私は特別な歌を、、ステイーブ : 恐れの中で生きるのはごめんです。私は希望を捨てることを拒否します。皆さん、礼拝、礼拝があなたを支えるでしょう。礼拝はあなたの意識を変えます。良い日も悪い日も、満たされた日々で、主の御名が祝福されますように。

JD : わお、いい言葉です。もっと話します？ メモが4ページもあったじゃない。あれ、まだ4ページあったっけ？ JD : そうでしょう？

ステイーブ : いや、これだけ。ここままで終わり？すごい。どうやってまた、、、、いや、あと2つあるな。

ステイーブ : ああ、2つあるね。JD : でしょ、いったじゃない。これは今朝のシェラトン・ワイキキの紙面にあります。ステイーブ : おお、そうだった。JD : あと16分あるよ、16分。ステイーブ : 私の妻はリッツ・カールトンで働いていて、ちょっとしたリッツの宣伝です。マリオットはリッツを所有、そのすべてを所有しています。さっきみんなのうち何人かとシェアしたけど、彼らはもうすぐあなたの家を所有することになるかも。彼らはラハイナを所有しているよ。いや、そうじゃないけど。でもそうかも。分からないね。しかし、そっちの話へは行きません。で、これはあそこで手に入れたもので、2つのメモが残っています。そのうちのひとつがこれで、私はそこで読みましたけど、あまりに素晴らしいので今皆さんにも読みます。これが私たちの住むところです。そこで、、、まず、「第一ペテロ1章6節」、

ー I ペテロ 1 : 6 ー

そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならぬのですが、「こうして、あなたがたの信仰は試されて、」

(I ペテロ 1 : 7 前半 口語訳参照)

再び、あなたがたが生きているところが試される場所で、私たち一人ひとりがそうです。それが私たちが住むところです。私たちの信仰が試される場で、あなた方の信仰が試され、

・・・火で精錬されてもなお朽ちていく金よりも高価であり、イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光と誉れをもたらします。(1ペテロ1:7)

イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光と誉れをもたらします。それは、人々がキリストを見つけること。あなたの人生を通してキリストを見つけること。現実を通して。これを皆さんと分かち合いたいです。JDは知らないのです。彼に、皆さんにあることを共有するとはいいましたが。もし、また見つけたら。それは小さなカードで、おお、これは違う小さなカードだ。これも違う。見つけました。このカードが、私の娘が最初の化学療法を受けた日にくれたものです。彼女は私たち家族一人ひとりのために書いてくれました。私の誕生日だったんだけど、ツイッターに日付がありました。これで2021年だとわかりました。娘が最初の化学療法を受けました。どこだ？ ありました。このカードが、数年前に印刷したもので、今までに、遡ると、私たちが教会を始めたのは、1993年、たぶん92年、91年かも、、、私はカナダのリージェント・カレッジで授業を受けていて、クラスのうちの1つがジョン・ストットのクラスでした。彼は、有名な神学者です。その本の題名は

『Between Two Worlds (二つの世界の間で)』で、これが私には忘れられなくて、大変重い。私が牧師になる前のことで、で、それを書いて、色あせて、擦り切れたり、コーヒーがこぼれたりしているけど、このカードの内容はこうです。皆さんにはわかります。これを理解できない教会の会衆を気の毒に思います。たくさんいます。「福音を語る牧師の真剣さによって、信徒は福音の真剣さを知るといふ。会衆は、牧師が真剣に語ることによって、福音の真剣さを知る。」基本的に、信徒は牧師の心によって福音の真剣さを学ぶようなものだ。わかりますね。あなたたちには福音について真剣な牧師がいます。先日、カルバリーチャペルで牧師たちの祈り会に参加しましたが、彼らは福音を語ることに真剣でした。これは素晴らしいと思うし、JDや、たぶん私とか、私たちのような真剣に取り組む人たちに拍手を送りたいです。しかし、それはすべて神のご栄光に帰し、神の足元に私たちの冠を投げ出します。残りの全てを。しかし、私が思ったのは、あなたの友人、同僚、子供たち、孫たちは、あなたが福音を真剣に生きることによって、福音の真剣さを学ぶんだ、と。説教壇やこのような場所でそれを説くことはないかもしれませんが、毎日、皆さん、私たちは神が与えられた生きた手紙なのです。人々の心に刻まれます。神とイエス・キリストの愛の真剣さ。すべてを宗教的にしたくないですね。福音の深刻さ。私たちが知っているのはただの良い知らせ/福音だけど、良い知らせ/福音って何ですか？ 神は人を愛しておられます。神は傷つき、痛み、悲しみの中にある人々を愛しておられます。主には希望があらわれ、計画があらわれます。主はまだラハイナに計画を持っておられます。主はラハイナを愛しておられるからです。

JD:アーメン。私はスティーブに話しました。実は今夜のタイトルを、一緒の時をね、スティーブは実際、「イエスはラハイナを愛しておられるパート2」の代わりに、本当は、タイトルをこうつけようと思っていました。「イエスは尚ラハイナを愛しておられる。」7ヶ月後も私たちはここにいるからです。このことが起きてから7ヵ月ぴったりと寄り添っています。悲しいことに、それはレーダーにかすりもしません。(ほんの一瞬のことですらない。)スティーブ:そうです。JD:本当に誰も、それって、、、少し時間をとりましょう。もしよければ、私たちはこのことについて話したし、スティーブとキムは、ケリーと私を本当に励ましてくれました。そのなかでも特に重要なのは、私たちが思い起こさせられました。本当に非常に必要な注意喚起です。物事を広い視野で見ると、特に妻は生まれも育ちもカイルアガールです。ラハイナがカイルアになり得たかもしれないと考えると、私たちがいかに多くのことを当たり前だと思っているかということ。私がスティーブとあるプロジェクトについて話したのは、実はつい昨日のこと。詳細は触れませんが、私の聖化が私から逃げてしまったと言えれば十分で、机の引き出しが閉まらなくなったので修理しようとしてしました。悪魔を追い出したり、あらゆることをしましたそれで私は、私はこんなふうに、引き出しを直している時間はない。主は大変忠実であられます。主は私に兄弟スティーブとラハイナの人々を思い出させられました。たぶん、修理する引き出しがあればすごくいいな、と思う人たちです。彼らは私を打ちのめしました。私たちはここにおいて、私たちにはこの美しい教会があります。私はただ、いつも主の御前で主に感謝していますけど、と同時に、私は、私はただ、主の御前で畏れおののくばかりで、ただ当たり前のようにすべてを受け入れてきたことへの許しを請いました。私たちは、今晚がこれが終わったら、みんなそれぞれの家に帰ります。快適で素敵な家に。私たちが2階にいたときも、今も、あなたはこう意見を述べました。モノについて話すとき、それはただのモノじゃない。忘れよう。これはただのモノだ。ちょっと待って。かけがえのないモノです。写真や子供が小さかった頃のホームビデオとか。消えてしまう。私たちが当たり前だと思っ

ているような、ほんの小さなこと。とにかく、罪の示しです。罪の咎め/非難ではなく。聖霊は罪を示されますけど、罪の咎め/非難するのは敵です。それがリトマステスト/判断基準ですね？ 罪の示しは、あなたを主に近づけます。罪の咎め/非難は、あなたを主から遠くに距離を置きたがります。聖化された罪の示しだけです。兄弟スティーブがそこで、取り組んでいることは、、、公園がそんなにひどくなっているとは知りませんでした。本当に恐ろしいことです。しかし、私たちはここで、こんな感じでいて、やあ、、、そこに行きたくありません。私はもっと罪の示しがあります。でも、それは現実のことです。あなたたちが住んでいるところからその街が見えるんですね？

スティーブ：私たちは通りをちょっと下ったところにいます。先ほどお見せた写真の通り。

JD：はい、それはあなたの家から通りを下ったところですね。スティーブ：そうです。

JD：なんてこと！それって、、、とにかく、おそらく、教訓です。自分に話しています。私にとっての教訓は、スティーブとキムのこと、そこの兄弟姉妹のことを考えるたびに、私たちは大変恵まれています。ただ感謝する姿勢。イスラエルの民のように、不平不満を言わないように。不満不平を言うことを好む人もいますけど、彼らはすべてを失ったので、不可能です。ですから、罪の示しと聖なる罪の示しに感謝します。それは良く、良い言葉です。特に最後にもうひとつ。あなたのコメントですね。はい、私たちは終わりの日にいますけど、「もしも～だったら」の方程式の反対側の「もしも～だったら」で、もしも神が、、、私たちが何度も電話で話したように、もし神があなたのために、大変壮大で輝かしい何かを持っておられるとしたら？

携挙のこちら側で、「詩篇 27 篇」13 節か 14 節、最後はあなたにまとめていただき、祈りで締めくくります。が、イスラエルの甘美な詩人ダビデが、彼自身の終わりです。彼はどん底に落ち、人生のどん底にいます。彼はこの言葉を綴りました。詩篇全体が、ただ、それに浸ってください。大変励まされます。まさに多くの人がいるところに語りかけるからです。どん底で、底が抜けて、ダビデはただ自由落下の中にいます。ダビデは言います。

「私は完全に諦めただろう。匙を投げました。私は、私は心を失いかけてました。しかし、”私が生ける者の地で主のいつくしみを見ることができると信じていなかったなら”

それは天国のこちら側です。生ける者の地は地上です。地上の天国だと言っているわけではありません。いえ、ダビデが言っていることは、彼はすべての希望を捨てたわけではないこと。彼は、まだ自信を持っていました。あれどれほど悪いことであったのに。すべてが言いようのないほどひどかったのです。ダビデはまだ、天国のこちら側で、主のいつくしみを見ることができると確信していました。私が好きなのは「詩篇 27 篇」最後の 14 節で、ダビデは基本的に独り言ではなく、自分自身との対話をしているのですよ。木曜日に話しましたが、独り言は分かりますね。ダビデが語っているのは、独り言ではなく、自分との対話です。それを見て言うのが好きですけど、「JD、座りなさい。話がある。良い独り言だ。」「わがたましいよ なぜ おまえはうなだれているのか。私はなおも神をほめたたえる。」(詩篇 42/43)

そう、彼は「詩篇 27 篇」でも同じことをして、彼は自分自身と対話し、こう言います。

「待ち望め 主を。 雄々しくあれ。 心を強くせよ。 待ち望め 主を。」(詩篇 27 : 14)

彼は自分自身に語っているのです。「生ける者の地で主のいつくしみを見る。」なので、私はそれが言葉なのかもしれません。私はまた別の言葉を持つことになるでしょう。もし主が遅く、、、絶対望みませんが。しかし、もしそうなれば、イエスはラハイナを愛しておられるパート 38。

スティーブ：ある聖句ですけど、こう言う場合、「神様、この言葉を私にお与えになりましたか？ 私にその聖句を与えられましたか？」私の聖書には、その隣に小さな CCW (カルバリーチャペル・ウエストサイド) が付いています。「見よ、わたしは新しいことを行う。・・・(イザヤ 43 : 19)

その前の 18 節が、「先のことに心を留めるな。昔のことに目を留めるな。」「激しく流れる水の中に通り道を設け、戦車と馬、強力な軍勢を引き出した。わたしがこれら全てをしたのです。彼らはみな倒れて起き上がれず、灯芯のように消え失せる。」(イザヤ 43 : 16~17 参照)

「わたしが以前にした偉大で輝かしいことはすべて忘れなさい。」天幕の話はしないで。幾人かはお存じです

ね。「わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。」(イザヤ 43 : 19)

「野の獣、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる。・・・誰もが野の獣や、ジャッカルは嫌でしょ。だちょうは、世界で一番汚い鳥みたいだしね。自分の教会にそんな動物たちを入れたい人はいませんよ。野の獣、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる。

・・・わたしが荒野に水を、荒れ地に川を流れさせ、わたしの民、わたしの選んだ者に飲ませるからだ。わたしのためにわたしが形造ったこの民は、わたしの榮譽を宣べ伝える。」(イザヤ 43 : 20～21)

私はただ思うのです。「神よ、あなたはこの終わりの日に、このラハイナで何かをされたいのですか？ 今、あなたは、自分には神に手が届かないと考えている人々に手を差し伸べたいのですか？ 人生でずっとジャッカルだった私に？」でも言いたいことは、分かっているのは、神はそうなさいます。神にご計画があるのを信じます。神はいつでも教会のために戻って来られるのを知っていますし、信じています。私は、神がそうなさるのを望みます。でも私は、神にはまだなさりたいことがあるような気がするのです。間違っているかもしれません。私は以前にも間違ったことがあります。私は、神が今も成し遂げようなさっている驚くべき方法で神を讃えるようなことがあると思います。私たちは、神がヨブにもたらされた祝福を、皆さんの人生や私たちの教会、皆さんの教会、そして神の普遍的教会にもたらさせる祝福を軽んじるべきではないと思います。誰もが、こう言う人たちを探しています。

「終末の日に偉大なリバイバルが起こる！！」聖書のどこにもそんなことは書いていません。しかし、だからといって、そのときが来るまで、偉大な神の御言葉の普及のリバイバルがあり得ないということにはなりません。それが私たちが求めていることなのです。私たちはそれを望んでいます。なので、毎週日曜日に福音を真剣に、一節一節宣べ伝えることを実行に移しています。それが私のすべきことです。他にどうすればいいのかわかりません。バーテンダーには戻れないのです。

JD:それでペテロは、漁師の仕事に戻ろうとしましたね。神はそれをさせられませんでした。私は、試してみました。告白するよ。私は辞めようとしたんだけど、奴隷は辞められないんだ。気づいてた？

スティーブ：ええ。私は、辞表を出そうとしたんだ。私は、「神よ、私は辞めます。」神は、「かわいいね、でも、あなたは辞められない。あなたは契約奴隷です。奴隷は辞められないよ。わたしはあなたを、わたしにメロメロにします。」君も、もうバーテンダーには戻れないよ。試してみるのはいいいけど、そうしたら、魚も釣れないし、飲み物も出せない。

スティーブ：それに、無理矢理行かされているわけでもありません。御言葉を開けば、やらないわけにはいきません。そう、そこにはアイデアがあって、朝、ベッドから出たくなくて、教会には行きたくない牧師とは違って、そして母親が言う。「教会に行きなさいって。教会に行きなさい。」皆さんはこの話を聞いて、結末を言ったらうんざりするでしょう。「あなたは教会に行きなさい。」「私は教会に行きたくない。あそこでは誰にも好かれてない。」「あなたは行かねばなりません。」「私は行きたくない。」「だめ行かなきゃ。」「でもみんな私を嫌ってる。」「彼らは私のことを話す。」「気にしないで行きなさい。」「あなたは牧師なんだから、行かなきゃ。」

JD:君は私よりずっと上手に話すね。私は、それを分かち合ったんだけど、いろいろなバリエーションがあるんだ。

スティーブ：でも、先にオチを言ってしまった。そう、私はオチを覚えられないんだ。私たちの教会の人々は、オチのないジョークをたくさん聞きました。そうなんですよ。「そのオチは？」では2節！いやいや。それではご起立ください。ディビット、上がってきてください。スティーブ、時間が蒸発してしまうって言ったでしょ？もう8時32分だもん。皆んなで祈るのに、君が締めくくってくれる？

スティーブ：ええ、もちろん。スティーブとキムはここにいるので、彼らと話したり、何か質問や批判があればどうぞ。

スティーブ：どうぞ。受けて立ちます。

JD:投書箱があって、このくらいの大きさです。そこにあなたの提案を書いてくれる？ では締めくくってください。

スティーブ：分かりました。

主よ、感謝します。あなたは私たちの誰か、あなたが召された人たちを目一杯用いられるでしょう。主よ、私たちをお助けください。決してそれを忘れないように。神よ、あなたは、知恵ある者を恥じ入らせるため、私たちを召されました。主よ、私たちに知識の御言葉、知恵の御言葉、人々が頭をかきむしるほど超越した愛、キリスト・イエスにあるいのちと敬虔さに必要なすべてを結ぶ赦しを与えてください。主よ、私たちの心をそれで満たしてください。神よ、あなたが約束されたことがすべて満たされる以外は望みません。主よ、私たちがあなたを疑わないよう助けてください。私たちが、敵の欺きである恐れの中で生きることがないように助けてください、主よ、敵が私たちにもたらす私たちの恐れや、そのようなことをすべて、あなたの御前に速やかに置かせてください。そして、あなたへの賛美を歌い始め、あなたの御言葉を読み始め、あなたの御心を聴き始めると分かります。

「あなたは大丈夫。わたしはあなたとともにいて、決して離れないから。」神よ、その言葉に感謝します。主よ、私たちはそれを何度聞いたことでしょうか。主よ、私たちがあなたの御心にしがみつくのをお助けください。そしてそれを世界中の人々と分かち合うために。残された時間はわずかです。私たちがそれを生き抜こうとも、もしかしたら、ここにいる誰かがあと20年、30年あると思っているかもしれませんが。いいえ。でも、言えるのは、神よ、それでは十分ではありません。私たちは、あなたが来てくださるその日まで、すべてを捧げたいのです。あなたが来られる日まで。イエスの御名によって。アーメン、アーメン。神の祝福がありますように。皆さん、来てくれてありがとう。皆さんが励まされたことを望みます。

スティーブ：招いてくださりありがとう。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7